

## 小笠原諸島母島列島妹島における多趾奇形のオガサワラヒヨドリの記録

川上和人<sup>1</sup>・藤田祐樹<sup>2</sup>

1. 森林総合研究所・多摩森林科学園, 〒193-0843 東京都八王子市廿里町1833

2. 東京大学・農・生物多様性, 〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1

スズメ目の鳥類は一般に、片足につき前趾 3本、後趾 1本の合計 4本の趾を持ち、ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis* も同様である。2003年 6月28日に小笠原諸島母島列島妹島(26° 33'N, 142° 33'E)にて、多趾のヒヨドリが捕獲されたので、ここに報告する。

多趾のヒヨドリが捕獲された妹島は母島の南南東約 6kmに位置する面積1.22km<sup>2</sup>の無人島である(小笠原村 2000)。本個体は成鳥で、翼長128mm、尾長120mm、露出嘴峰長24mm、ふしよ長23mmで、体サイズは通常のオガサワラヒヨドリ *H. a. squameiceps* の変異の範囲内に入る(図 1, 山階 1933)。両足ともに第二趾、第三趾、第四趾は通常の個体と同様の状態だったが、第一趾において奇形が認められた。右脚の第一趾は、通常の第一趾の約 2倍の太さに肥大しており、趾先に爪が 3



図 1. 多趾奇形のヒヨドリ個体。ほかの部位は正常。

Fig. 1. The polydactyl deformed individual of the Brown-eared Bulbul. The other parts of its body were normal.

2003年 9月13日 受理

キーワード: オガサワラヒヨドリ, 多趾奇形



図 2. 奇形個体の脚部.  
Fig. 2. The legs of the deformed individual.

本並列についていた(図 2)。左脚の第一趾は、通常後方につくべきところが、約90度内側に向いていた。第一趾は通常の第一趾の3~4倍の太さに肥大しており、第一関節部分で2本に分岐していた(図 2)。分岐した前部は通常の第一趾程度の太さで、爪が1本ついており、後部は通常の第一趾の約2倍の太さで、爪が2本ついていた。

妹島では、ほかに約20個体のヒヨドリが捕獲されたが、この1個体以外に奇形はみられなかった。

このような奇形が発現する原因として、以下の可能性が考えられる。第一に、化学物質等の汚染による非遺伝的な発生異常である。妹島は第二次大戦前に入植の記録があるが、戦後は無人となっており、現在汚染源があるかどうかは不明である。第二に、近親交配の頻度の増加による遺伝的な形質発現である。妹島におけるヒヨドリの個体数は不明だが、面積が狭いため、維持されている個体数は少ないと考えられる。妹島から約1km離れた場所には姪島(面積1.13 km<sup>2</sup>)が、約6km離れた場所には母島(面積20.21km<sup>2</sup>)があるが(小笠原村 2000)、これまでに島間でのヒヨドリの移動は観察されておらず、交流の頻度は低いと考えられる。このため、妹島の個体群サイズは小さく、近親交配の頻度が増加することで劣性遺伝子による奇形が発現したのかもしれない。また、突然変異遺伝子により奇形が生じた可能性もある。今後妹島の個体群の調査を進めることで、奇形個体の出現頻度とその原因を明らかにする必要がある。

本報告をまとめるにあたり、小笠原村の千葉勇人氏にご助言いただいた。厚く感謝を申し上げる。

## 引用文献

- 小笠原村. 2000. 小笠原村村勢要覧資料編. 小笠原村, 東京.  
山階芳麿. 1933. 日本の鳥類とその生態1. 梓書房, 東京.

A polydactyl deformity of a Brown-eared Bulbul on Imotojima Island, the Bonin Islands,  
southern Japan

Kazuto Kawakami<sup>1</sup> & Masaki Fujita<sup>2</sup>

1. Tama Forest Science Garden, Forestry and Forest Products Research Institute, Todorii 1833, Hachioji,  
Tokyo 193-0843, Japan
2. Laboratory of Biodiversity Science, School of Agriculture and Life Sciences, The University of Tokyo, Yayoi  
1-1-1, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8657, Japan

A polydactyl deformed individual of Brown-eared Bulbul *Hypsipetes amaurotis squameiceps* was found on Imotojima Island, the Bonin Islands, Southern Japan. The individual had three claws on its right first toe and two first toes on its left leg. The cause of the deformation was not clear.

*Key words:* Brown-eared Bulbul, *Hypsipetes amaurotis squameiceps*, polydactyl deformity